

地 図	東書（東京書籍株式会社）	
総 評	<p>地図帳の使い方では、記号や方位、縮尺、索引が扱われており、基本的な内容を詳細に記載している。</p> <p>さし絵や写真が鮮明で色使いが配慮され、地図上に写真資料を添付せずに、境界線をつけて表示するなど、地図の情報を児童が視覚的にとらえやすい構成となっている。</p> <p>日本と世界のつながりに関して、歴史的なものに重点が置かれており、現代の状況についての指導に配慮を要する。</p> <p>地球規模の環境問題に関わる資料の取り扱いについて、工夫を要する。</p>	
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力の向上にむけて、地図の活用について基本的な内容を詳細に記載している。② ○ 全ページカラー刷りで地図の情報を児童が視覚的にとらえやすい構成となっている。④ ○ 世界の国々の文化について記載があり児童の興味を引きやすい。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図の成り立ちを、絵図を用い説明している。地図帳の使い方では、記号や方位、縮尺、索引が扱われている。① ○ 日本の気候や自然、水産業、農業、工業の分布が扱われている。「日本とそのまわり」では沖ノ鳥島が沈まないように工事されていることや、択捉島をロシアが占拠していることを記載している。④ ○ 外国語活動、道徳、家庭科、国語科、音楽科、算数科、理科でも活用できるように工夫されている。⑦
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ さし絵や写真が鮮明で色使いが配慮され、大きさも適切である。地図上に写真資料を添付せずに、境界線をつけて表示するようにしている。③ ○ 反射を抑えた印刷で障がいその他特性の有無にかかわらず児童にとって読み取りやすいようになっている。④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の歴史」では、年表と共に領土の変化などがわかる地図を時代ごとに扱っており6年生の学習内容に適している。「日本の自然災害」では、日本全図に災害が起こった日時や場所、プレートの動きがわかるように作成されており、4・5年生の学習内容、防災に関する学習内容に適している。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害と防災、日本の歴史、外国語科や外国語活動、理科、道徳、家庭科、国語、音楽など、社会科以外の学習活動にも活用できる資料を掲載している。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図から読み取って考えさせたい内容が、案内役のキャラクターの言葉で書かれている部分があるため、児童の論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成するという点においては配慮を要する。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球規模の環境問題に関わる資料の取り扱いについて、工夫を要する。⑥
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表紙の耐久性に配慮を要する。①
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本と世界のつながりに関して、歴史的なものに重点が置かれており、現代の状況についての指導に配慮を要する。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページに登場する案内役のキャラクターが多く、児童の思考に与える影響に配慮を要する。②

和2年度使用教科用図書 答申資料（第2地区）

地図		帝国（株式会社帝国書院）
総評		<p>大阪府の地図は100万分の1、50万分の1、20万分の1が扱われており、地図の活用方法や情報の見方を詳細に記載している。</p> <p>文字の大きさにメリハリを付け、フォントはユニバーサルデザインを採用し、地図の情報を児童が視覚的にとらえやすい構成となっている。</p> <p>日本各地の地図では「広く見わたす地図」と「日本各地の地図」の2つがある。「広く見わたす地図」では、都道府県の位置と名称を調べる活動の際に活用できる。</p> <p>世界の写真の横に書かれている内容は統計資料と重複しているので、国の様子がわかる写真資料を増やすなどの配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力の向上にむけて、地図の活用方法や情報の見方を詳細に記載している。また、全ページカラー刷りで地図の情報を児童が視覚的にとらえやすい構成となっている。世界の主だった国々の基本情報の記載がありわかりやすい。
	2 内容の取扱い	<p>○ 大阪府の地図は100万分の1、50万分の1、20万分の1が扱われている。②</p> <p>○ 「広く見わたす地図」において、様々な絵図を地図上に添付することで都道府県の様子を読み取ったり、比較したりできるようにしている。③</p> <p>○ 日本の地形、気候が各2ページで扱われている。農業、水産業、工業、日本の空路が扱われている。「日本の領土とそのまわり」では、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることを記載している。</p> <p>○ 「世界各地の地図」における「集まれ！世界の子どもたち」では、世界各国の子どもたちの様子から異文化理解ができるように配慮されている。⑤</p>
	3 外的要素	<p>○ 文字の大きさにメリハリを付け、読み取りやすいようにしている。また、フォントはユニバーサルデザインを採用し、行間も適切である。図や写真の説明文などはすべて意味の切れ目で改行しているため読み取りやすい。②</p> <p>○ 田、畑、果樹園の模様をつけ、障がいその他特性の有無にかかわらず児童にとって読み取りやすいようになっている。④</p>
	4 構成・配列	○ 日本各地の地図では「広く見わたす地図」と「日本各地の地図」の2つがある。「広く見わたす地図」では、第4学年で学習する都道府県の位置と名称を調べる活動の際に活用できる。②
	5 資料・その他	○ 防災・減災についての資料や、外国語科、外国語活動、国語、算数、理科、音楽など、社会科だけではなく他教科でも活用できる資料を掲載している。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 都道府県を表す手話の取り上げ方が突発的で、統計資料としての地図帳の役割としては工夫を要する。③
	2 内容の取扱い	○ 地球規模の環境問題に関わる資料の取り扱いについて、工夫を要する。⑥
	3 外的要素	○ 見開きページに複数の異なる地図を掲載するために通し番号を付けているが、ほとんどのページが①だけである。②
	4 構成・配列	○ 日本と世界のつながりに関して、歴史的なものに重点が置かれており、現代の状況についての指導に配慮を要する。②
	5 資料・その他	○ 世界の写真の横に書かれている内容は統計資料と重複しているので、国の様子がわかる写真資料を増やすなどの配慮を要する。②